

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style [ ビズスタ東京 ]

# 2019 09

特別版

『BizLifeStyle』は東京、名古屋、関西、京都、仙台、福岡、広島にて5.4万部発行  
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイルスポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2019 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

## 東京2020 オリンピック・パラリンピックまで あと1年! 品川がアツい!



ホッケー女子日本代表チーム「さくらジャパン」で活躍したオリンピック、藤尾香織氏。品川区東京2020大会コミュニケーターを務める彼女は、現在、専門非常勤職員として品川区役所に勤務している。先ごろ、新設の「大井ホッケー競技場」の完成披露式典が開催された同区では、東京2020大会で計2競技の開催を予定。そこで今回は、機運も高まる区の近況、今後の意気込みなどについて藤尾氏にうかがった。

ホッケー  
会場：大井ホッケー競技場(品川区八潮4-1-19)  
日程：2020年7月25日～8月7日

藤尾香織さん  
オリンピック  
元ホッケー日本代表  
品川区専門非常勤職員

「まず「コミュニケーター」という役割について教えてください。」

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、東京2020大会)では、品川区はビーチバレーボールとホッケーの競技会場となっています。競技自体をご覧になったことがない方も多いので、イベントなどを通して競技の魅力を知り、認知度向上に貢献するための活動を展開しています。

「競技と区民を結びつけるような役割ですね。」

そうですね。もともとホッケーの魅力を広めたいという意欲があったので、自治体として想いを共有していただくのと知り、感激しました。

「品川区には、実際に勤務しておられますよね。」

そうですね。ゲストとしての参加では見えにくい運営の細部を間近に見ることができて、とてもよい経験になっています。

「品川区は、東京2020大会に向けた機運醸成を図るために積極的に活動する区という印象が強いように思います。」

うれしいことですよね。オリンピック・パラリンピックの自国開催は、多くの方にとって深く記憶に残る大イベントだと思います。それに仕事として直接的に関われるのは、大いに誇りに思いますね。私

の周囲の皆さんも、とてもアグレッシブに取り組んでいて、本当に忙しいですね。」

「品川区の応援競技であるフラインドサッカーも含めて、各競技をPRするための取り組みは？」

ビーチバレーボールでは公道に砂を敷き詰めて国内ツアーを開催したり、ホッケーでは実際の競技会場でエキシビジョンマッチを行ったりしてきました。フラインドサッカーは来年の3月に天王洲公園で国際大会も開かれる予定なんです。できるだけ皆さんに「生で観戦できる機会」を提供する方針で動いています。

「生観戦は、やはり臨場感が違いますよね。」

至近距離なら、選手の息づかいまで手に取るように分かりますからね。感動の大きさが違いますし、競技に対する愛着も自然に高まるものです。区民の方から「楽しみにしています」とお声掛けいただく、自分のことのようにうれしく感じます。

「藤尾さんで自身も過去のオリンピックに出場されていますが、何か印象に残ったことはありますか？」

ロンドン大会は自由にまわらされたのですが、まわらされたテンションが高く、ホッケーのイングランド戦では、サッカーのチャンピオンズリーグのような盛り上がりでしたね。地面が揺れるような

雄叫びで、もの凄く熱気なんです。ホッケーであれだけの歓声を受けたのは初めての経験だったのでゾクゾクしました(笑)。

「そうすると、品川区民もロンドンっ子に負けられませんが、盛り上がりはいいかがですか？」

最近のイベントでは手応えを感じています。開催まであと1年となりましたが、昨年と違い、こちらから大声で呼びかけなくても、多くの方がホッケーのブースに来てくださるようになりました。これからヨーロッパやオセアニアのように人気が高まるかもしれませんので、大会後の盛り上がりについても期待しています。

「最後に、意気込みを。」

ホッケーやビーチバレーボール、フラインドサッカーの魅力について、区の関係者として全力で区民にお届けしたいですね。今の夢は会場が満員になることだし、「コミュニケーターとしての役割を果たすことが目標です。その後は、この3競技が品川区のスポーツ文化の中に根ざすことになればうれしいですね。」



藤尾 香織さん

1981年東京都国立市生まれ。品川区在勤。父の転勤でホッケーが盛んな山梨県南アルプス市に移り住み、ホッケーに出会う。大学1年時に日本代表に初選出。アテネ(8位)、北京(9位)、ロンドン(10位)と3大会連続でオリンピックに出場。2006年には、日本人初の世界最高峰オランダリーグへ参戦。2018年4月より品川区に勤務し、品川区東京2020大会コミュニケーターとしてホッケーの魅力を伝えている。



My Favorite Life Style

注目選手 ミニインタビュー



坂口佳穂選手  
ビーチバレーボール  
会場: 都立湖風公園(品川区東八潮1)  
日程: 2020年7月25日~8月8日



川村 怜選手  
ブラインドサッカー  
会場: 清瀬アーバンスポーツパーク(江東区青海1-1)  
日程: 2020年8月30日~9月5日

「これは日本だけではなく、観客も楽しんでいるんですよ。」  
「音楽が鳴っていて、選手だけではなく、観客も楽しんでいるんですよ。」

「ブラインドサッカーに対する区民の関心や理解が高まっているだけでなく、実際に会場に足を運んでくださる方も多いという印象があります。」

「世界中で同じです。海外は特に盛り上がるんですよ。観客もノリがよく、声援も大きいです。」

「東京のO2O大会に向けて、区民の方々に期待するところは、とにかく試合を観に来て欲しいですね。」

「自分自身がプレーをお見せする中で、このスポーツのファンを増やしていきたいと考えています。」

「海外の友人から日本はすばらしいね」と褒められることが多いです。」

坂口佳穂選手  
1996年3月25日生まれ、宮崎県串間市出身。マイナビ/KBSC所属。2014年大学入学とともに川崎ビーナスポーツクラブビーチバレーアカデミーに入校し、本格的にビーチバレーを始める。

川村 怜選手  
1989年2月13日生まれ、大阪府東大阪市出身。アクサ生命保険株式会社、ブラインドサッカークラブチーム「パレシオン品川」所属。2016年より日本代表の主将を務める。しながわ2020スポーツ大使としても活動中。

柳家三之助 師匠がひとこと解説！  
品川区が応援する3競技の魅力

ケーブルテレビ品川で、区内で活躍する人や団体を紹介するレギュラー番組を持つ 柳家、柳家三之助氏。番組の取材などを通して実際に経験した「品川区応援3競技」の魅力について、ご自身も品川区内に在住する三之助師匠に語ってもらった。



ホッケーの魅力は？

思い通りにならないから面白い。簡単に見えるけど、とても難しいんですよ。なんだか「曲者」みたいなスポーツなんですよ。



ビーチバレーの魅力は？

実際に砂の上でプレーしたときは、しこたますりむきました(笑)。ユニフォームも派手で、音楽も流れる“魅せる”スポーツですね。



ブラインドサッカーの魅力は？

聴覚を研ぎ澄まして、声をかけあって、みんなの動きを想像しながら…。普段は気がつかないことに気づくことができる“スポーツ”かもしれませんね。

Biz Life Style Pick up >>>

ケーブルテレビ品川の品川区広報番組  
「三之助の笑顔いっぱい とっておきの品川」YouTubeでも配信中！

三之助の  
笑顔いっぱい  
とっておきの品川



東京2020大会も、開催まであと1年。ホッケーとビーチバレーボールの競技会場となる品川区では、2019年7月28日、区立総合体育館でみんなであそぼう！スポーツフェスタOZと題したイベントを開催した。

「海外の友人から日本はすばらしいね」と褒められることが多いです。... 柳家三之助氏の司会進行のもとにぎやかなトークセッションが行われた。

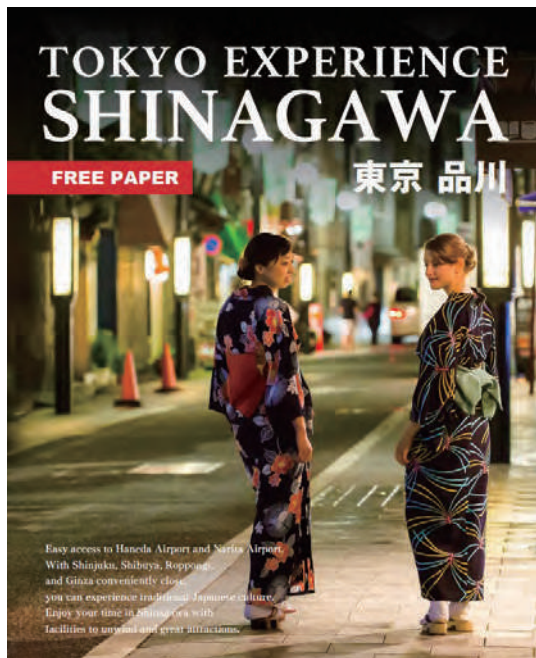
一緒に盛り上げよう！ しながわ2020スポーツ大使 プロフィール

Profiles of sports ambassadors: 伊藤華英さん, 大前光市さん, 川村 怜さん. Includes photos and biographical text for each.





## 外国人向けフリーペーパー「TOKYO EXPERIENCE SHINAGAWA」



いよいよ開催が迫ってきた東京2020大会をさらに盛り上げるために、多種多様なイベントを発売に開催している品川区。その努力が実り、ホッケー/ビーチバレーボール/フラインドサッカーの3競技の魅力は、いまや区民に広く浸透しているようだ。さらに今年は、ラグビーワールドカップが日本で開催されることから、外国人向けのフリーペーパーを制作し、日本の伝統文化を体験できる区内のスポットを紹介している。また、開幕戦などが東京スタジアムで開催されることから、京王線沿線でもプロモーションを展開。誰もが知る「品川区」だが、PRフレーズとイラストで表現された品川区の魅力は、意外性があつても申し。そのほかこの5月からは、インスタグラム上で新企画「まるで品川区じゃないみたい」も始まった。まるで海外のような風景の数々は、知られざる区内のイン

### 東京2020大会に向けて ホントの品川区の魅力を広く発信

訪日した外国人向けに、英語版フリーペーパーを発行。JR品川駅からも歩いて散策できる旧東海道では、日本の伝統文化を感じさせるスポットや日本食を堪能できる飲食店がたくさん。旧東海道のおすすめスポットのほか、イベント情報なども掲載している。区内イベント会場でも配布予定。

スタ映えスポットなのかもしれない。東京2020大会に向けた情報発信も充実。この夏からは新たにLINE公式アカウントを開設したほか、しながわ観光大使のシナモロールが品川区3競技応援キャラクターとともに大会を盛り上げる企画も始まった。品川区は、もともと「住みたいまち」系のランキングなどでもよくその名を見かけるエリア。東京2020大会でも注目を集めることになるだけに、さらなる仕掛けが楽しみだ。



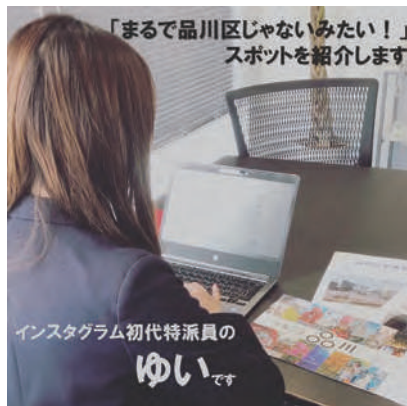
## 京王線 車内広告 (中ぶり・電車内ビジョン)

一般公募とアンケートによって選ばれたPRフレーズと区民アーティストによるイラストを組み合わせたインパクトのあるデザイン。あまり知られていない品川区の魅力をアピールしている。



## Instagram 「まるで品川区じゃないみたい！」

フォトジェニックな区内の風景を続々投稿中！知られざるインスタ映えスポットかも。



◎ 次の4カ所はどこでしょうか？



正解はこちら... #まるで品川区じゃないみたい

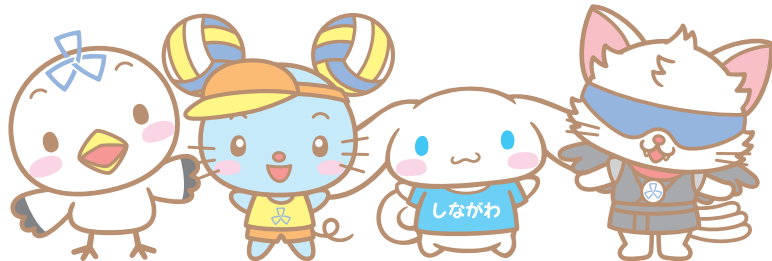


## しながわ観光大使 シナモロールも応援！



## しながわ 2020 特設サイト・SNS

東京2020大会の品川区に関する情報をあらゆるメディアで配信中。しながわ2020特設サイト・SNSをフォローしよう！



© 2001, 2019 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. G602084

しながわ観光大使のシナモロールと品川区3競技応援キャラクターが東京2020大会と一緒に盛り上げる「仲よし大作戦!」。特設サイトには、キャンペーン情報や4コママンガなど楽しい企画が満載。

「シナモロールのわくわくしながわタウン」  
http://cinnamon-shinagawa.jp/



特設サイト  
shinagawa2020.jp



twitter  
@shinagawa\_2020



Instagram  
@shinagawa\_2020



LINE公式アカウント  
しながわ2020



品川区役所 東京都品川区広町2-1-36  
TEL.03-3777-1111(代表) www.city.shinagawa.tokyo.jp  
開庁時間/8:30~17:00  
休日/土日祝、年末年始(12月29日~1月3日)  
※一部日曜開庁、火曜延長窓口あり



品川区シティプロモーション特設サイト  
www.city.shinagawa.tokyo.jp/wa/

わ!しながわ 検索

